

❄️ ブレーキ機器の凍結に注意 ❄️

# リレーエマージェンシーバルブ 凍結防止処理のお願い

ブレーキ機器が凍結すると、ブレーキが作動しないため非常に危険です。走行前に良く確認して下さい。

凍結を防止するために、凝水(ドレン)の排出を励行して下さい。

サービス工場で、リレーバルブ、モジュレータ内部の水分除去とリレーピストンの凍結防止処理をされることをお勧めします。

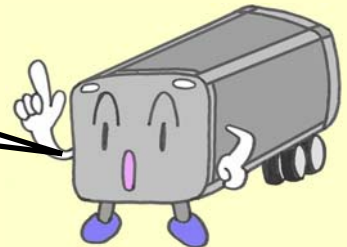
リレーエマージェンシーバルブ  
RE-6※



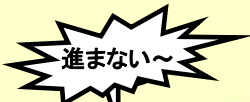
モジュレータ  
AL-4TJ



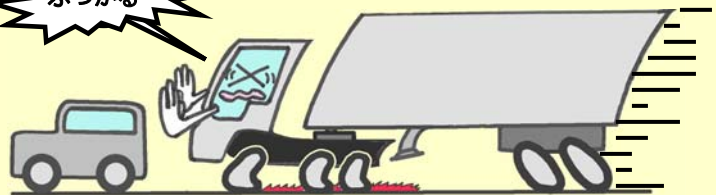
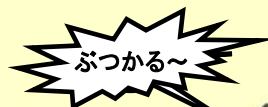
定期的なメンテナンスでいつも、「安心」「安全」運転を



リレーピストン内部の水分が凍ると...



トレーラのブレーキが  
ききっぱなしになる



トレーラのブレーキが  
きかなくなる

⚠️ 注意

厳寒期に入る前の日常点検でドレンが大量に出る場合はトラクタのエアドライヤの点検整備を早めにしておくことをお勧めします。



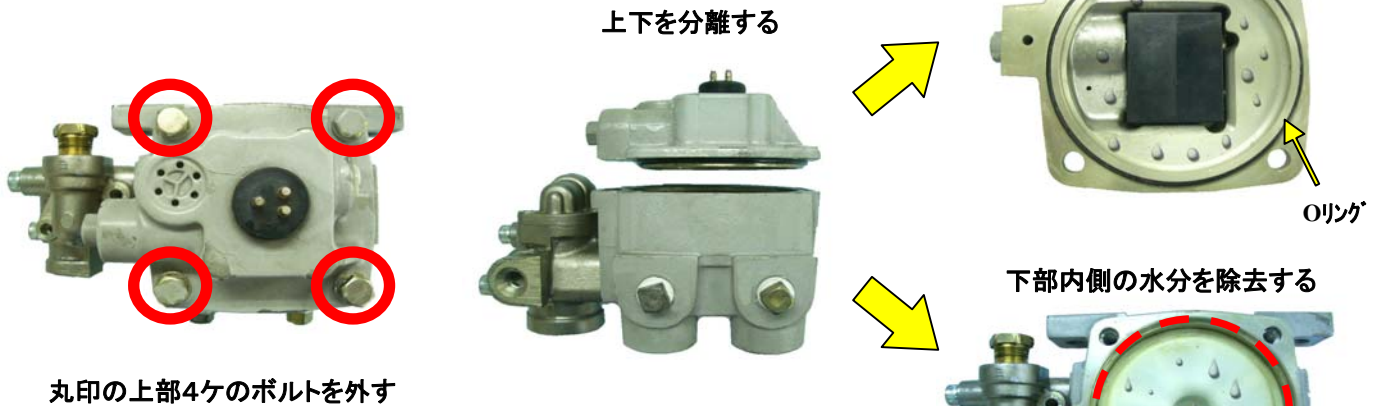
整備に関するお問い合わせは取扱説明書の巻末の  
日本フルハーフ販売拠点またはお客様相談室までご連絡ください。



# モジュレータ内ピストン部および エマージェンシバルブ内ピストン部の水分除去方法

冬季には、気温が氷点下になり、ブレーキのトラブルが多くなります。  
モジュレータのリレーピストン内部の水分除去し凍結によるトラブルを未然に防いで下さい。

## AL-4TJの場合

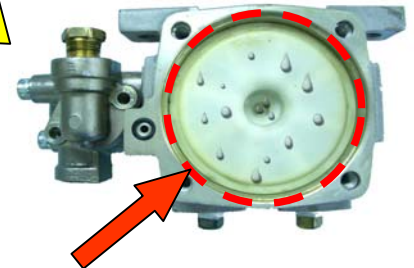


丸印の上部4ヶのボルトを外す

上部中側の水分を除去する

リング

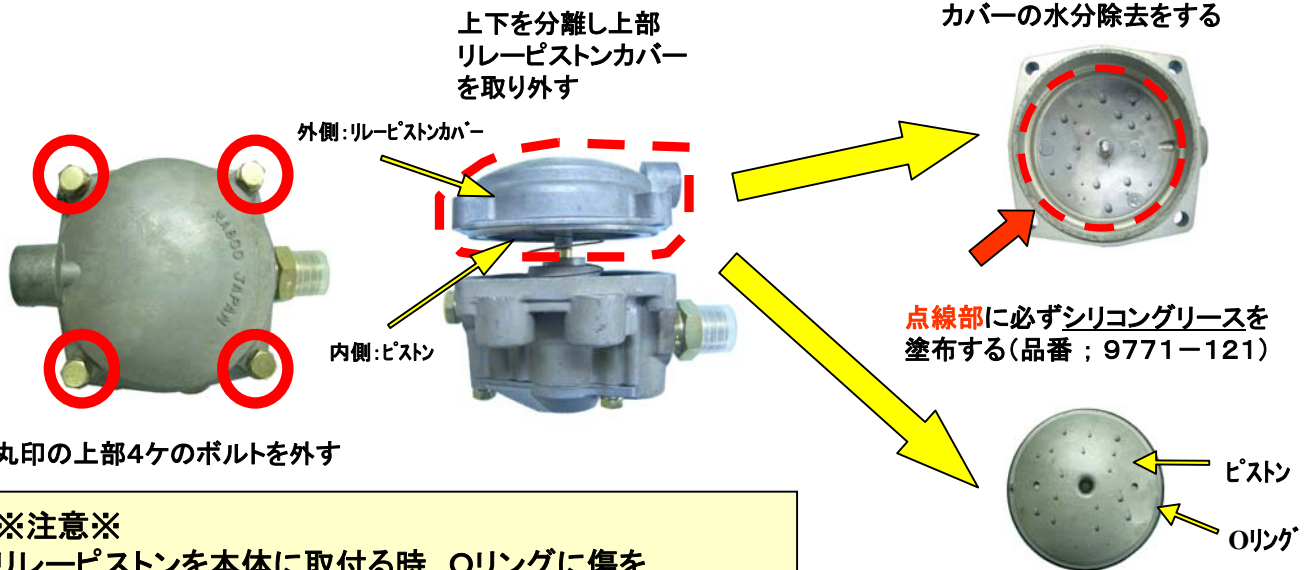
下部内側の水分を除去する



点線部に必ずシリコングリースを塗布する(品番 ; 9771-121)

※注意※  
リレーピストンを本体に取付る時、Oリングに傷を付けないように注意する。  
Oリングに傷を付けたら、摩耗していたら交換して下さい。  
(O-リング品番 ; 9771-120)

## RE-6Eの場合



丸印の上部4ヶのボルトを外す

上下を分離し上部  
リレーピストンカバー  
を取り外す

リレーピストンカバーから  
ピストンを取外しリレーピストン  
カバーの水分除去をする

点線部に必ずシリコングリースを塗布する(品番 ; 9771-121)

リレーピストンカバーから  
引き抜いたピストンの上部の  
水分除去をする

※注意※  
リレーピストンを本体に取付る時、Oリングに傷を付けないように注意する。  
Oリングに傷を付けたら、摩耗していたら交換して下さい。  
(O-リング品番 ; 9771-122)

専門的な技術や機械工具を要する点検・整備については専門のサービス工場を受けて下さい。  
本装置の分解整備を行う場合は整備要領書を読み作業を行って下さい。